

## チャレンジ！！オープンガバナンス 2020 市民／学生応募用紙

自治体提示の地域課題タイトル（注1）	No.	タイトル	自治体名
	-（事務局用）	新型コロナを乗り越えるための大都市における新しい生活様式の創発	神奈川県横浜市
チームがつけたアイデア名（注2）（公開）	ユニバーサルツーリズムデスク		

（注1）地域課題タイトルは、COG2020 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題タイトルを記入してください。

（注2）アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。

### 1. 応募者情報 赤字部分は削除して該当の番号を記入

チーム名 (公開)		
チーム属性 (公開)	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生	2
メンバー数 (公開)	5名	

## チャレンジ！！オープンガバナンス 2020 市民／学生応募用紙

代 表 者	太田啓介
メン バー ( 公 開 )	太田雄介 鴨下琳斗 中山圭太郎 小野湊斗

**【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。**

＜応募の際のファイル名と送付先＞

1. 応募の際は、ファイル名を COG2020\_応募用紙\_具体的チーム名\_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2020 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。admin\_cog2020@pp.u-tokyo.ac.jp

＜応募内容の公開＞

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：  
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY（表示）4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC（表示—非営利）4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。  
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開いたしません)
5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アトバイスの段階で相談の上公開することがあります。

＜知的所有権等の取扱い＞

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様でお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

＜チームメンバー名簿＞

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

アイデアの説明全体が肖像権・著作権等を侵害していないことの確認	○
---------------------------------	---

**(1) アイデアの内容、(2) アイデアの理由、(3) 実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。**

必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

### (1) アイデアの内容 (公開)

**アイデアは、これこれの課題解決のために、何をやる社会的な活動（サービス）なのか、をわかりやすく示してください。**これが将来実現した場合、**魅力的で新規性があり、実践したくなり、活用してみたい**なる、そしてその結果として、課題が解決される、そんな**わくわく感のあるアイデア**を期待します。**2 ページ以内**でご記入ください。

## 2. アイデアの説明（公開）

### (1) アイデアの内容（公開）

<応募チームとして解決したい課題の要点はこれ！をごく短く書いてください>

多目的トイレが他の人によって使用されていると、こしか使えない車椅子使用者・男女共用のトイレしか使えない人が困っています。また、旅先ではどこに多目的トイレがあるか、わからないので困っています。

<この課題解決のためのアイデアが具体的に実行される場面を想定してください。そこで・・・>

<「何を」するアイデアか、それを「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するかをわかりやすく書いていきます>

<よいアイデアを生むには関連データの分析確認とデザイン思考によるアイデアを使う人への共感が必要です>

多目的トイレをはじめ、ユニバーサルツーリズムに必要な設備をアプリ（スマートフォンアプリまたは web サイト）で確認できるようにします。

しかしながら、ユニバーサルツーリズムの設備（多目的トイレ、階段昇降機、音声案内版など）のデータが整備されていないこと、語彙が揃っていないことがわかりました。

そこで、まず 語彙の標準化を行いました。多目的トイレ・多機能トイレ・だれでもトイレなどの日本全国共通の言葉がないものを最適な言葉 1 つ y に絞り込みます。

つぎにデータベース設計を整理しました。駅・公共施設に「～を運用する」という項目をつけて、その下に「階段昇降機」・「障害者用エレベーター」・「音声読み上げ案内板」などと入力します。これは、Wikidata の仕組みを参考にしています。実際、いろいろな手法で調査したデータは、Wikidata に登録しています。

### (2) アイデアの理由（公開）

**このアイデアを提案する理由**について、それを**サポートするデータを根拠として示しつつ 2 ページ以内で説明**してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

## 2. アイデアの説明（公開）

### (2) アイデアの理由（公開）

<このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます>

<先の（1）で書いた「何を」「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するというアイデアの内容を支えるための、「なぜ」これやりたいのかの思いを上記のデータを示しつつ書いていきます>

多目的トイレが他の人によって使用されていると、ここしか使えない車椅子使用者・男女共用のトイレしか使えない人が困る状況を少なくしたい。

旅先ではどこに多目的トイレがあるか、わからないので困っている状況を少しでもスマートフォンアプリなどで確認しやすくして解決したい。

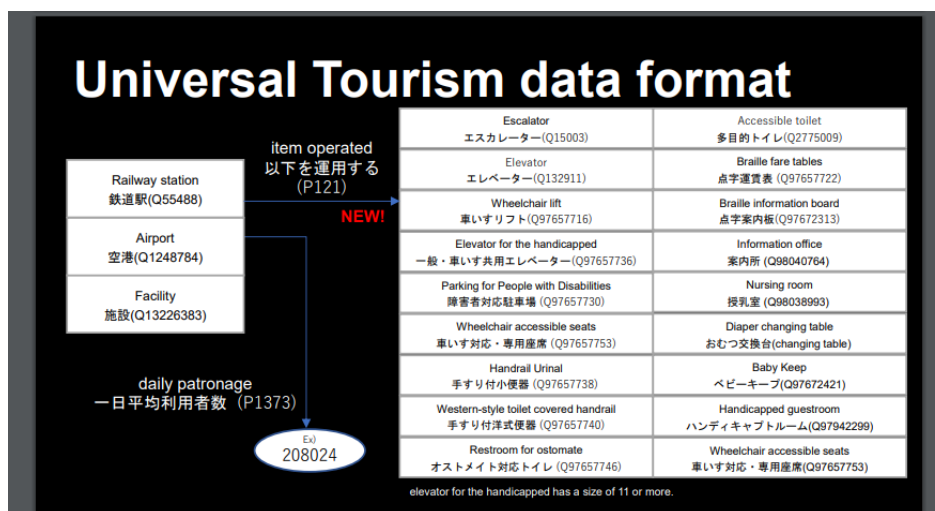
### (3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを実現する主体、アイデアの実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの実現にいたる時間軸を含むプロセス、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、アイデア実現までの大まかな流れについて、2 ページ以内でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

＜アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきまづ＞

これを実現するには、アプリ制作の前に、データ整備が必要になり、さらにその前に、語彙の整理やデータベース設計が必要であることに気づき、対応した点が工夫です。

## 1. ユニバーサルツーリズムで用いる設備の語彙の整理・データベース設計（プレスリリース実施）



## 2. ユニバーサルツーリズム設備の調査実施

## 3. 設備データを Wikidata に登録中

（←現在ここまで実施）

## 4. Wikidata の API 機能を用いて、アプリ制作

秋のアイデア考案段階における課題提示自治体との連携状況について、以下の質問にお答えください。